

職員による自己評価

A 環境面

当日の利用人数によってフロア分けを行ったり、歩行が不安定な児童に対しては移動・移乗の介助を行ったり、安全に対応している。また階段には手すりが設置してあり、安全に留意された環境である。

B 児童への支援内容

毎月のミーティングや日々の意見交換にて、プログラムや児童への対応の改善や試行錯誤を行うことが出来ている。新しいプログラムを交えながら、利用児童が楽しんで通園できるようニーズの把握も努めている。

C 関係機関との連携

コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会への参加が難しい場面もあった。また学校からの情報が少ないため必要に応じて連絡を取り、情報共有・報告などを行っているが今後も改善が必要と思われる。

D 保護者への説明責任・信頼関係

前例に無いコロナ禍の中で、保護者の方々へ個別に電話による相談支援を行ったり、少しでも保護者の方々の心に寄り添った支援を行えるように心がけている。またHPを活用し活動の公開にも努めている

E 非常対応

マニュアルの見直し、改善を行い、また非常時訓練や緊急時対応を含む定期的な研修なども日々の中で行っている。

保護者による評価

A 環境面

ほとんどの保護者の方が現状のスペース配分に納得されており、改善希望の声は聞かれなかった。

B 児童への支援内容

祝日も利用が出来るようになったことへの喜びの声が挙がった。プログラム内容に関しても教材に工夫が見られること、季節に合っていることなどから、子どもが通園やプログラムを楽しみにしている、満足している等の声が多数寄せられた。

C 事業所からの情報発信

HPを見て利用を検討して下さった保護者の方がいらっしゃったり、活動内容のHP更新に満足されている。また写真等の掲載に関して、各家庭の状況に応じた配慮がされているという意見が挙がった。

D 非常対応

不審者・火災・地震など様々な事態を想定して定期的に訓練を実施してくれている。利用回数が少ない児童についても、少しでも多く訓練に参加できるように頻度や実施日の検討をしてほしいとの意見もあった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・環境面や支援内容などその他様々な出来事について、日々職員間で情報共有や相談を重ね試行錯誤することで、職員の意識や連携も一際高まり、保護者の方から評価を得られた。
- ・ホームページに掲載する活動内容については、写真掲載の承諾など個人情報の保護に十分留意したうえで、様々なプログラム等について定期的に更新されていることを評価いただいた。

【相違点】

- ・非常時を想定した避難訓練など、利用日数が少ない児童でもしっかり参加が出来るよう、訓練実施のタイミングや対応の検討が必要である。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・職員間での連携がしっかり取れており、新しいプログラムについての検討や児童への関わり方など、柔軟な対応を行うことが出来ている。
- ・必要に応じて、個別対応を行うなど個々のニーズに合わせた支援の提供に努めている。

事業所の改善点

- ・学校との連携が取れていない時もある為、連携をより深めていく必要がある。
- ・今後もコロナ禍が続いていくことを想定し、コロナ禍の中でも地域の方々や保護者の方と関わる機会をつくる事が出来るように検討を行っていく。

事業所の改善への取り組み

- ・保護者との緊急時の連絡が迅速にとれるよう、改めて確認する。
- ・学校との連携について、保護者に再度確認を行う。
- ・コロナ禍でも安全に関わっていける居場所づくりについて、ミーティングなどを通して職員間で検討を行っていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回のアンケートでは、「コロナ禍」という先が見えない中でも保護者の皆様から温かいご意見が多数寄せられるなど、満足度が高く良い評価が得られた。今後もより良い支援に繋げていけるように、連携を取りながら試行錯誤を行っていきます。

事業所名 第二よこはまことり園

担当者 中川 あゆみ